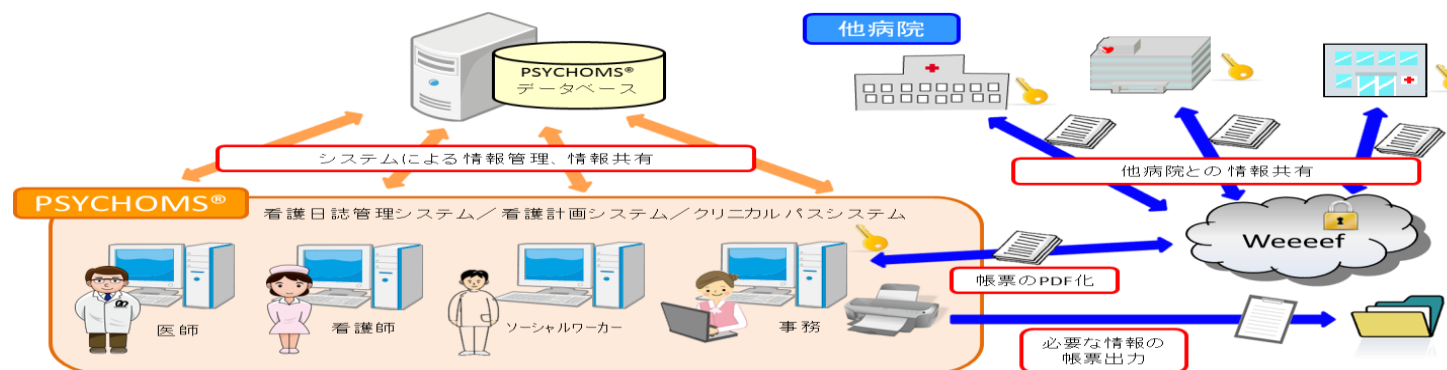


チーム医療および地域医療機関間の情報共有を便利にするための精神科アウトカム管理システム（PSYCHOMS®）の標準化と市販化のための研究開発



1 研究目的

電子カルテシステムでは精神科専用のものは未だ開発途上である。本システムは電子管理システムではないが、一般診療科と比較して医療職の人員配置の少ない精神科における問題を解決するサポートシステムを目指す。

2 研究開発の概要

- 1) バリエーションを自動分析して適切に看護管理者に情報提供するための方法論（計算式）の検討を行う。
- 2) クリニカル・パスにプログラムされた作業項目を効率よく表示する情報表示プログラムの検討を行う。
- 3) 看護日誌管理システムを用いて適正人員配置を行う方法論の開発および多職種との情報共有ができるシステムにする。
- 4) 計画したクリニカルパスや看護計画を患者や多職種、地域の他の病院と Weeeef を用いて共有できるシステムにする。

3 期待される研究成果及びその社会的意義

本研究により、継続医療の視点からシステムを考案することで、医師・看護師・ソーシャルワーカーなど精神科で働く人が協力しやすく、患者の治療や退院時のゴールを共有できるようになる。また、看護の視点から、看護計画システムとクリニカルパスシステムの開発を進めることは、患者の生活支援の視点から精神科の入院期間の短縮や社会的入院の問題を解決する一助となる。標準化されたクリニカルパスシステムや看護計画システムを使用することで、標準的な精神科医療福祉サービスや社会的入院患者のためのリハビリテーションサービスを提供できるようになり、精神科医療福祉サービス全体の質的向上に寄与する。規模の小さい病院や養護老人ホームでは、同様の問題を抱えている。将来的な研究の発展として、本研究の成果を応用して地域の医療福祉機関で可能なものにすることができると考えられる。ひいては、ICT を利用すれば、障害を持った人でも、健康で自立して暮らせる社会の実現につながると考えられる。